

5. 学生の受け入れ

中期目標

- (1) 本学の理念・目的及び「学生受け入れの方針」について、社会への周知に努める。
- (2) 入学者選抜試験は公正かつ適切に実施する。
- (3) 入学定員及び収容定員の適正な管理に努める。
- (4) 学生募集に係る広報活動の充実を図る。
- (5) 本学の国際化を推進し国際的通用性の高い教育研究を推進するため、留学生・研究生の受け入れを積極的に行う。

中期計画

- 【14】 本学の理念・目的及び「入学者受け入れの方針」については学生募集要項等に明示すること、本学ウェブサイトに公表すること、進学ガイダンス及びオープンキャンパス等において説明すること等により、社会への周知を図る。

取り組み状況及び課題等

1) 本学においては、建学の精神である「科学技術に基づく正確な医療保健の学問的教育・研究及び臨床活動」「寛容と温かみのある人間性と生命に対する畏敬の念を尊重する精神」に則り、時代の求める高い専門性、豊かな人間性及び教養を備え、これからの社会が抱える様々な課題に対して、新しい視点から総合的に探求し解決することのできる人材の育成を図ることを理念・目的としておりますが、学生の受け入れに当たっては、学部・大学院ともこれらの理念・目的及び「入学者受け入れの方針」を大学案内及び学生募集要項に明記しております。

また、「入学者受け入れの方針」については、本学のウェブサイトに公表しており進学ガイダンス及びオープンキャンパス等において説明を行う等社会への周知を図っております。

2) 入学者受け入れの方針の一部改正について。

平成 26 年度に実施する平成 27 年度入学者選抜試験においては高等学校新学修指導要領に対応した入学試験を行うことから、次のとおり医療保健学部看護学科及び医療栄養学科、東が丘・立川看護学部の「入学者受け入れの方針」の一部改正を行いました。

なお、医療保健学部医療情報学科においては、従来から高等学校で履修すべき科目の指定は特になくことから同学科の「入学者受け入れの方針」の改正は行っておりません。

① 医療保健学部看護学科及び医療栄養学科。

「入学者受け入れの方針」に明記している「高校で履修しておくことが望ましい教科・科目」の表記の改正を行ったこと。

(改正前)

なお、本学科を志望される方は理科の選択科目において、「生物Ⅰ」「化学Ⅰ」を履修されていることを望みます。

(改正後)

なお、本学科を志望される方は理科の選択科目において、「生物基礎」又は「生物」及び「化学基礎」又は「化学」を履修されていることを望みます。

② 東が丘・立川看護学部。

「入学者受け入れの方針」に新たに次の文章を明記したこと。

「なお、本学科では、1 年次の授業科目である「自然科学の基礎」において、物理・化学・生物

に関する基礎知識の定着を図っておりますが、入学後、無理なく学修を進めるために、高校においては必履修科目の中から物理基礎、化学基礎及び生物基礎をすべて履修するか、選択科目（物理、化学、生物）の中から2科目を履修することを望みます。」

中期計画

【15】入学者選抜試験は公正かつ適切に実施する。

- ・学部における入学者選抜については、高等学校学修指導要領の改訂・施行に伴い、平成27年度入学者選抜試験に向けて入試実施科目の見直しを適切に行う。
- ・入学者選抜の実施内容については、学部・研究科等の特色・特徴等を踏まえた改善・充実を図る。
- ・入学者選抜試験問題については、「学生受け入れの方針」に基づき適切に作成することとし、試験問題にミス等が生じないようにチェック体制の徹底を図る。
- ・入学者選抜試験会場においては、入試実施上の注意事項の徹底を図るとともに試験監督を厳正に行う等、入学者選抜試験の公正かつ適切な実施に努める。
- ・入学者選抜試験関係業務の適切な実施に努める。

取り組み状況及び課題等

1) 学部の入学者選抜における入試実施科目の見直しについて。

平成26年度に実施する平成27年度入学者選抜試験においては高等学校学修指導要領の改訂・施行に伴い、入試実施科目の見直しを次のとおり行いました。見直しの内容についてはホームページにおいて公表しており、受験生に混乱を生じないように周知を図っております。

<一般入学試験の試験科目について>

(1) 「国語(現代文のみ)」「数学Ⅰ・数学A」の出題には変更がない。

「数学Ⅰ・数学A」については新教育課程に合わせた出題範囲・内容の出題とする。

(2) 現行試験科目の「生物Ⅰ」及び「化学Ⅰ」に対応する科目として、新教育課程の「基礎科目」をベースにして、新教育課程の「生物」及び「化学」の内容から項目を選択して、それぞれの基礎科目に付加した組み合わせ科目を出題する。

また、文系履修者のために「生物基礎＋化学基礎」も出題する。

- | | | | | |
|---|------------|---|------------|--------|
| ① | 生物基礎 (50点) | + | 生物 (50点) | 100点満点 |
| ② | 化学基礎 (50点) | + | 化学 (50点) | 100点満点 |
| ③ | 生物基礎 (50点) | + | 化学基礎 (50点) | 100点満点 |

※理科を2科目選択する際、「生物基礎・生物」と「生物基礎・化学基礎」の組み合わせ選択、「化学基礎・化学」と「生物基礎・化学基礎」の組み合わせ選択は不可とする。

<センター試験利用入試の試験科目について>

大学入試センターが出題する科目の「国語」「数学Ⅰ・数学A」「数学Ⅱ・数学B」「情報関連基礎」「生物」「化学」「生物基礎・化学基礎」の7科目から、学科の特性に応じて選択条件を定めて、2科目を利用する。

※センター試験利用入試において、選択科目で理科を2科目選択する際、同一名称を含む科目の組み合わせ選択は不可とする。

<旧教育課程履修者に対する経過措置>

数学及び理科の2教科に関しては、センター試験利用入試においては、経過措置として大学入試センターが出題する科目の中から選択できるものとし、一般入学試験においては、旧教育課程に

基づく「数学Ⅰ・数学A」「化学Ⅰ」「生物Ⅰ」の科目について選択問題を作成する等の配慮を行うこととする。

2) 入学者選抜の実施内容の改善・充実について。

平成27年度学生募集に当たって平成26年度に実施する入学者選抜試験のうち、次のとおり募集定員等の変更を行いました。今後も入学者選抜の実施内容については各学部・各学科の特色・特徴等を踏まえて適切に見直しを行い改善・充実に努めてまいります。

- ① 医療保健学部医療情報学科の平成27年度学生募集に係るA0入試の募集定員について、8月、9月、10月のA0入試の募集定員と志願者数の乖離が生じているため次のとおり募集定員の見直しを行いました。

入試区分	入試実施月日	27年度 募集定員	26年度 募集定員
8月A0入試	26. 8. 13 (水)	<u>10名</u>	<u>5名</u>
9月A0入試	26. 9. 13 (土)	<u>5名</u>	<u>8名</u>
10月A0入試	26. 10. 11 (土)	<u>8名</u>	<u>10名</u>
12月A0入試	26. 12. 13 (土)	5名	5名
3月A0入試	27. 3. 4 (水)	2名	2名
計		30名	30名

- ② 東が丘・立川看護学部の平成27年度学生募集に係る募集定員について、昨年12月に実施した第2期指定校推薦入試及び第2期公募制推薦入試を行わないことから次のとおり変更を行いました。

入試区分	入試実施月日	27年度 募集定員	26年度 募集定員
指定校推薦入試	26. 11. 15 (土)	<u>40名</u>	<u>15名</u>
第2期指定校推薦入試	—	—	<u>15名</u>
公募制推薦入試	26. 11. 15 (土)	<u>20名</u>	<u>10名</u>
第2期公募制推薦入試	—	—	<u>10名</u>
一般入試前期日程	27. 2. 4 (水)	100名	100名
一般入試後期日程	27. 2. 18 (水)	<u>20名</u>	<u>30名</u>
センター試験利用入試前期	—	15名	15名
センター試験利用入試後期	—	5名	5名
計		200名	200名

- ③ 東が丘・立川看護学部の指定校推薦入試の評定平均値の変更について。

同学部は平成22年度に設置し平成26年3月には第1期卒業生を社会に送り出しましたが今まで指定校推薦入試により入学した学生の成績は概ね良好であること、また第1期卒業生の看護師国家試験の合格率が95.9%と高かったこと等から指定校推薦入試における評定平均値の見直しを行っても優秀な学生数の確保が可能であると判断し次のとおり変更いたしました。

「指定校推薦入試の評定平均値「3.5以上」→「3.8以上」(医療保健学部看護学科と同じ)
 なお、公募制推薦入試における評定平均値は、従前どおり「3.5以上」です(医療保健学部看護学科と同じ)。」

3) 入学者選抜の公正かつ適切な実施について。

- ①「本学が求める学生像(アドミッションポリシー)」に基づき、意欲と能力のある学生を受け入れるため、A0 入試、推薦入試、一般入試(前期・後期)、大学入試センター試験利用入試(前期・後期)など多様な入学試験を実施することとし、入学試験ごとに募集定員、出願資格、試験日程及び選考方法等を学生募集要項に明示しております。
- ②入学者選抜において透明性を確保するための措置としては、学生募集要項において各学部・学科が求める学生像を明記するとともに、各試験区分毎の募集人員、選考方法、試験科目の配点を明らかにしております。A0 入試については、A0 入学試験の方針を明示するとともに、提出された自己推薦書、課題論文の採点評価基準及び面接の着眼点等を明記しており、透明性の確保を図っております。
- ③なお、入学試験の実施に当たっては、全教職員の協力のもと、入学試験実施委員会等を中心として適切かつ公正な入試を行っております。また、医療保健学研究科及び看護学研究科においては、一般入試、推薦入試に係る募集人員、出願資格、出願資格審査、試験日程及び選考方法等を学生募集要項等に明示して公正かつ適切な入試を行っております。

中期計画

【16】 入学定員及び収容定員の適正な管理に努める。

- ・学部・研究科等の入学定員に基づき、適切な入学者数を受け入れるとともに収容定員の適正な管理に努める。

取り組み状況及び課題等

本学においては、毎年度入学定員に基づいて、適切な入学者数を受け入れることとしております。平成26年度においては、収容定員に対する学部全体の在籍学生数比率は1.10、大学院全体の在籍学生数比率は0.94となっております。

大学院のうち医療保健学研究科においては収容定員を満たしておりませんが、同研究科においては社会からの要請に基づき平成27年度から入学定員を変更しないで博士課程に看護学領域、修士課程に看護実践開発学領域を設置することから今後入学定員を充足するよう努めてまいります。

(資料24 「大学基礎データ(表12)学部・学科、大学院研究科の志願者・合格者・入学者数の推移」)

収容定員に対する学部全体及び大学院全体の在籍学生数比率について

26.5.1 現在

学部・研究科	学科・専攻	平成26年度 収容定員	在籍学生数	収容定員に 対する在籍 学生数比率
医療保健学部	看護学科	400	449	1.12
	医療栄養学科	400	439	1.10
	医療情報学科	320	323	1.01
東が丘・立川看護学部	看護学科	500	565	1.13
学部合計		1,620	1,776	1.10
医療保健学研究科	修士課程医療保健学専攻	50	47	0.94
医療保健学研究科	博士課程医療保健学専攻	12	6	0.50
看護学研究科	修士課程看護学専攻	60	63	1.05

看護学研究科	博士課程看護学専攻	2	4	2.00
大学院合計		124	120	0.97

中期計画

【17】 学生募集に係る広報活動の充実を図る。

- ・ 本学志望者等を対象として開催する進学ガイダンス・オープンキャンパス・入試説明会等の実施内容の充実を図るとともに、その実施概要については本学ウェブサイト公表する等広報の充実に努める。
- ・ 高等学校・塾等への積極的な広報活動により本学の認知度の向上に努める。
- ・ 大学案内及び大学紹介パンフレット等の記載内容の充実を図る。

取り組み状況及び課題等

- 1) 毎年度、本学志願者等を対象として進学ガイダンス・オープンキャンパス・入試説明会等を開催しておりますが、進学ガイダンス・オープンキャンパス等の実施内容については大学案内等に掲載するとともに本学ホームページに随時掲載して社会一般・高校生等への周知を図っております。また、事務局入試広報部職員が本学の認知度の向上を図り学生募集につなげるため首都圏及び関東近隣の高等学校・塾等を定期的に訪問しておりますが、その際にオープンキャンパス等のリーフレット・チラシを多数持参しており本学が主催するイベント等の周知を行っております。オープンキャンパス等においては各学部各学科教員による説明のほか、在学生から本学入学を志望した理由・受験勉強のこと・学生生活等の説明を行うとともに、本学卒業生を招いて大学在学中に特に取り組んだこと及び現在の勤務先の仕事の内容等について説明を行っており、説明後には質問にも答えております。なお、オープンキャンパス等終了後のアンケート結果では参加者から「大変参考になった」「説明が分かりやすかった」「本学を是非受験したい」等高い評価を得ております。オープンキャンパス等の実施内容については今後も充実に努めてまいります。
- 2) 学部の大学案内については本学志願者及び資料請求者のニーズに対応するため、平成 25 年度から、医療保健学部及び東が丘・立川看護学部それぞれの学部案内のほかに、本学が設置する学部・大学院全体の概要等を盛り込んだ大学の総合案内の冊子を新たに作成し配布しております。今後も大学案内及び大学紹介パンフレット等の記載内容の充実を図ってまいります。なお、資料請求者及び本学のオープンキャンパス等の行事参加者へは、ダイレクトメール等により最新情報の提供を行っております。

中期計画

【18】 本学の国際化を推進し国際的通用性の高い教育研究を推進するため、留学生・研究生の受け入れを積極的に行う。

- ・ 外国からの留学生・研究生については、授業料等の経費について配慮を行う等、受け入れ環境の整備を図る。

取り組み状況及び課題等

平成 26 年度においては、外国からの留学生及び研究生の受け入れはありませんが、「国際交流に関する基本方針」に基づき本学の国際化を推進し国際的通用性の高い教育研究を推進するため、今後、留学生及び研究生の積極的な受け入れを検討してまいります(資料 10 「国際交流に関する基本方針」)。
 なお、本学の国際化に向けて教職員・学生に係る海外派遣・海外研修を積極的に推進すること、海外

専門研修等の研修先との相互交流の推進を図ることとしておりますが、毎年度学部学生を対象としたアメリカハワイ大学等における全学合同海外研修を実施していることから、国際交流委員会においては研修先との相互交流に向けて検討を進めることとしております(中期計画【5】参照)。

根拠資料

資料 24 「大学基礎データ(表 12)学部・学科、大学院研究科の志願者・合格者・入学者数の推移」

資料 10 「国際交流に関する基本方針」